

未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子！

～考え動き 人とつながり 挑戦し続ける子～

特別活動・たてわり活動で育む力

北小学校では、児童会活動や委員会活動など、子どもたちが、主体的に考え動く特別活動を積極的にしています。

特別活動には、活動を通して人間関係や生活経験を豊かにすることや、思いやりの心や共に生きていく態度、責任の自覚、自律・自製の心など豊かな人間性や社会性を身につけることができるなど、他の教育活動とは異なる役割があります。

高学年では、一年間を通して、児童会や委員会活動で、どの子もリーダーになることを経験し、その上でフォロースキップの大切さも学んでいます。この経験は、将来社会に出たときに、他者と協力しながら、社会の一員として主体的に課題にとりくむ力へとつながると考えています。

本校では、異学年交流を行い、学年を越えた活動も実施しています。縦割り遊びでは、高学年が計画を立て、低学年が楽しめるものを企画運営します。その中で、高学年



低学年の子の手を持って

【たてわり遊び（大縄大会）】

は、低学年への優しさを発揮し、低・中学年は、六年生になったらこんなお兄ちゃんお姉ちゃんになろうというあこがれを持ちます。

休み時間、校長室に六年生と一年生が来ました。聞いてみると、一年の教室で怪我をしている子を六年生が見掛け、職員室まで連れて来たということでした。また、学年を越えて遊んでいる姿もよく見ます。とても微笑ましいです。それが、北小の風土を築き、良い雰囲気醸し出しています。

今年も、さらに「たてわり掃除」を実施しました。今までは、クラスでの掃除でしたが、異学年で掃除をすることで、さらに高学年のリーダーとしての自覚や低学年への優しさが芽生えています。



異学年で協力して掃除【たてわり掃除】

学校評価で、「他の学年の子と一緒に楽しく遊んだり一生懸命掃除したりすることができましたか。」という項目では、九十四％の子どもたちが肯定的評価をしていました。

「考え動く」は、学校教育目標の一つです。これからの予測困難な時代を生き抜くためには、問題意識を持ち、どうすれば良くなるかを考えていくことが大事です。特別活動や縦割りの活動を通して、全校生が楽しくなるにはどうすれば良いか、学校が良くなるには何をすれば良いかなど、課題に対して、懸命に考え、全校生のために動いていく力をこれからも培っていききたいと考えます。

第五回 学校運営協議会

本校の学校運営協議会も、発足から4年目を迎えました。先日、今年度最後の協議会を行い、今年度の学校運営を振り返り、様々な観点から意見をいただきました。

学校行事では、最後までやり抜く力を目標に取り組んできました。委員の方から「子どもたちが運動会で見せる迫力、音楽会での緊張感など、同じ子どもたちかと思うくらいそれぞれの行事に応じた姿を見せてくれ、頼もしかった。コロナ禍でもできることをしていたいただいた先生方の熱意に感謝している。」と感想をいただきました。他にも、「北小の子どもたちの挨拶がうれしい。学校に来ているとみんなが挨拶をしてくれる。」「最後に授業に入った時、『来年も、また来てな』と言ってくれ、子どもたちの優しさを感じた。」など、たくさんのおいしいご意見をいただきました。学校は、まだまだ課題もあり、子どもたちにとんな力を付けていくかを共有しながら、保護者・地域の方々のお力を貸していただきたいと思います。

これからも、北小の子どもたちの健やかな成長を願いながら、地域も学校も元気になるような取り組みを進めていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしく願います。



第5回 学校運営協議会の様子